

(行政視察・**政務活動**・議員研修) 報告書

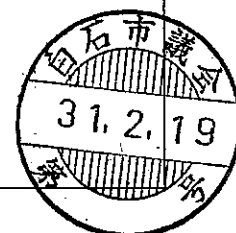
平成31年2月19日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 四 竈 英 夫

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成31年2月4日(月)～5日(火)
調査・研修先	東京都立川市
研修事項	東京女子体育大学・東京女子短期大学との連携事業について 国会見学(視察)
対応者	立川市議会議長 佐藤寿宏氏 産業文化スポーツ部スポーツ振興課長 久保佳彦氏 産業文化スポーツ部オリンピック・パラリンピック準備室長 下河辺康氏 他2名
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	<p>(1) 事業の経緯・概要</p> <p>①経緯 平成25年の東京都国体開催時に、東京女子体育大学と立川市が協働で「ゆりーと体操」の地域への普及を行った。これをきっかけに「東京女子体育大学・東京女子短期大学と立川市との連携・協力に関する連絡協議会」を設立し、現在に至っている。</p> <p>②概要 文化、教育、学術、スポーツ、地域振興、まちづくり等の分野で包括的な連携・協力により、相互の発展と充実を図り、ともにまちづくりを進めていく強固なパートナーシップの基礎とするため協定を締結した。協定に織り込まれた事項は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興に関すること ・オリンピック、パラリンピック等国際競技大会開催に伴う気運醸成に関すること ・地域振興、まちづくりに関すること ・人材育成に関すること ・学術研究及び教育に関すること ・生涯学習に関すること ・健康に関すること ・災害対策に関すること ・その他必要と認める事項



これらを実施するために、学長や市長などで構成する「連絡協議会」と、関係部署の課長職で構成する「連絡協議会幹事会」を設置した。

(2) 具体的な事業内容及び特色について

具体的な事業として、年1回連絡協議会幹事会を開催する。また、市が行う事業に大学より講師として教授等の派遣をもらったり、学生ボランティアの協力をもらうことや、大学が実施する事業や教室を市の広報で知らせたり、会場の提供を実施している。

(3) 事業実施における成果・効果について

連携協定により、年1回開催される連絡協議会幹事会の議題として、大学と市との連携事業の実績と予定を報告することで、連携の確認と新たな連携の開始を容易にしている。

(4) 事業の今後の課題等について

2020 東京オリ・パラが、スポーツを広める好機と考えている。連携協力に関する協定の中心的な目的は「オリンピック・パラリンピック等国際競技大会開催に伴う気運醸成に関すること」である。大会終了後レガシーを築き、スポーツに係る大きなイベントがなくても、市民のスポーツに対する関心を継続できるように、連携協力を継続してゆく。

【考察】東京女子体育大学と同短期大学と立川市が連携した事業を行うことにより、スポーツを愛しスポーツとともに生きる市民の意識の醸成が図られ、健康で文化的な市の環境が形作られている。

また、両大学による東京 2020 応援プログラムも作成され、トライアスロン・新体操・野球・バスケットボール・ソフトボール・柔道・テコンドーなどの特別講座が開設されている。同大学が掲げる「強みを生かしたリーダーに」「自分らしさが輝く」「元気で明るい」「高いコミュニケーション能力」「継続する力が身に付く」等、女子大学の魅力をアピールし人材の育成に努めている。行政と大学との連携が功を奏している。

また、学生だけでなく還暦をきっかけに、全日本マスターズ体操選手権に12年連続出場する選手もいるなど、生涯にわたりスポーツとのかかわりをもつ人材を輩出するなど、大きな実績を挙げている。

本市としても、2020 東京五輪の新体操でベラルーシの事前合宿を受け入れることにより、スポーツへの市民の関心も高まってきており、こうした好機を将来に向けて進展させて行くことが大切であると思う。